

書店でご注文ください。

十三松堂茶会記

正木直彦の
茶の湯日記

依田 徹 編

《三月発売》本書は『正木直彦夫妻茶会記』『正木直彦日記』（共に東京芸術大学附属図書館蔵）より、正木直彦と同夫人の茶会記の記述を翻刻・編集したものである。

岡倉天心の後を受け、美術行政・美術教育の分野で貴重な足跡を残した正木直彦。遺された明治44年から昭和16年までの茶会記には、益田鈍翁、松永耳庵、原三溪、小林逸翁、高橋箒庵、田中仙樵、川合玉堂、北大路魯山人、佐佐木信綱、徳富蘇峰など、各界の名士が登場する。その人物交流の様子は、美術史・茶道史に新たな光を当てるだろう。



正木直彦 十三松堂こと正木直彦（一八六二—一九四〇）は岡倉寛三（天心）と同じ年の生まれである。教職を経て上京し、帝国大学法科大学法律科を卒業。帝国奈良博物館学芸員、古社寺保存委員を経て文部省秘書官となり、明治34年に東京美術学校（現・東京藝術大学美術学部）第五代校長となる。以後32年間の長きにわたり校長として同校の発展に努め、昭和六年には帝国芸術院院長に任命されている。

依田 徹 昭和52年（一九七七）、山梨県生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科芸術学専攻、博士後期課程を修了。美術博士。日本近代美術史、茶道史を専門とし、主な論文に「日本美術史における茶の湯」（國華「二九二号」）がある。

● A5判・二九二頁・上製本・ジャケット装・定価（本体4500円＋税）

松林鶴之助 九州地方陶業見学記

Matsubayashi Tsurunosuke

前崎信也 編

《三月発売》朝日焼十二代松林昇斎の四男として生まれた松林鶴之助（一八九四—一九三三）は、京都市立陶磁器試験場附属伝習所で濱田庄司や河井寛次郎の元で窯業技術を学ぶ。イギリスに留学し、濱田とほぼ入れ違いにイギリスのバーナード・リーチのリーチ工房に入り、濱田のいない工房で技術指導を支え、リーチの依頼により三室の登り窯を建造したことも知られる。

本書は、大正8年松林によつてまとめられた調査旅行記『九州地方陶業見学記全』（朝日焼松林家蔵）の翻刻に解説を加えたものである。調査先は大分県を除く九州五県に点在する40余の陶磁業者で、有田の香蘭社、深川製磁、辻精磁社、松尾工場など、高級陶磁器から衛生陶器工場まであらゆる製



磁業者が対象となっている。他にも高取焼、唐津焼、高田焼、大川内焼、三川内焼、薩摩焼など、かつて御用窯として栄えた陶家・陶業地の大正期の経営や技術の様子が詳細に描写され、近代九州窯業史を知る貴重な史料となっている。〈原本挿図スケッチ100点・表26点、追加挿図写真113点〉

前崎信也 一九七六年生まれ。龍谷大学卒、二〇〇八年ロンドン大学SOAS博士課程（美術史）修了。二〇〇九年より、立命館大学グローバル・イノベーション研究機構ポストララルフェロー。学術博士。

● 四六判・三五二頁・上製本・ジャケット装・定価（本体4500円＋税）

注文書	
書店(帳合)印	
条件	
注文数	担当
冊	様
書名	発行
十三松堂茶会記	株式会社 宮帯出版社
茶の湯日記	京都市上京区真倉町七三九一
正木直彦の	TEL 〇七五—四四一—七七四七
依田 徹 編	FAX 〇七五—四三二—八八七七
ISBN978-4-86366-885-0	C3023 ¥4500E
定価(本体4500円+税)	
年 月 日	

注文書	
書店(帳合)印	
条件	
注文数	担当
冊	様
書名	発行
松林鶴之助	株式会社 宮帯出版社
九州地方陶業見学記	京都市上京区真倉町七三九一
前崎信也 著	TEL 〇七五—四四一—七七四七
ISBN978-4-86366-886-7	FAX 〇七五—四三二—八八七七
C3072 ¥4500E	
定価(本体4500円+税)	
年 月 日	

株式会社 宮帯出版社

〒602-8488 京都市上京区真倉町739-1 www.miyaobi.com
TEL. (075) 441-7747 FAX. (075) 431-8877